

2016年度調布市中学校教育研究会英語部  
調布市内英語科教員の英語科指導法工夫改善のための研究会  
2016年7月22日 調布市立第六中学校

**自立した学習者の育成のために**  
～アクティブラーニングを活用した授業の展開を目指す～

淡路 佳昌(大東文化大学)  
awaji@ic.daito.ac.jp

**本日のトピック**

- 1) 自立した学習者育成のための視点について
- 2) 英語指導におけるICTの活用実践事例や特色ある教授法等について
- 3) アクティブラーニングとは？その具体例や手法について



**自立した学習者を育てるには**

**自立した学習者は...**

- 学習方法を身につけている
  - 方法を支える基礎力は？
- 学習を続ける動機がある
  - 動機を維持するには？
- 学習の目的を意識している
  - 実用論に極端に偏った今

**中高大を通じて見て**

- 自立できていない学習者の特徴
- 基礎的なスキル、学習の土台がない
  - 読む力
    - 読めないから書けない、覚えられない
  - 意味を理解する
    - 訳すことが理解することと勘違い
  - 発音
    - 教わったことがない

**英語嫌いを作らないポイント**

- 嫌いになる原因いろいろ
  - 教師が嫌い
  - 恥ずかしい
  - 例外が多い
  - 発音が難しい
  - わからない
- わかるように教えること
  - 意味、読み、発音

## 本当に「意味」を教えていますか？

- 意味がわかること vs 訳すこと
  - often
    - 「しばしば」?
  - She is my mother.
    - 「彼女は私の母親です。」?
- **理解し、使用し、体感すること**
  - 教室は人工的環境だが、実用的な使用は可能

## 本当に「読み」を教えていますか？

- の弊害
  - 生徒は単語の全体像をなんとなく見ている
  - 最初の数文字で判別?
  - 道具本来の使用目的ではない使い方
- **個々のつづりの読み方をきちんと教えるべし**
  - 書き足し法のすすめ

## 文字と音の関係に気付かせる

- 例外との付き合いかた
  - 規則性にこそ注目させる
  - 例外つづりは規則的なつづりで書き換えて
- 発音記号は助けになる？
  - pet [pet]
  - jet [dʒet]
  - yet [jet]
  - car [kɑːr] care [keə] hear [hiə]

## 読み方を教えるポイント

- **最短最善の方法は、つづりを見て読めること**
  - 新たに記号を覚える負担
  - 発音記号をなんとなく読んでいても発音は良くならない
- **例外ではなく、規則性に意識を向けること**
  - ヘンな読みをつづりには注意を喚起しつつ、もっとも多い読み方を優先的に教える

## 自信を持って発音を教えていますか？

- モデルとしての教師の発音
  - 日本人による発音の良質なモデルとして
  - しっかり口元を見せて
  - 実現可能な到達目標として
- NSにはできない発音指導
  - 日本語の発音の影響がわからない
  - 真似させる以上の指導ができない
  - 生徒にわかりやすく指導助言できない
- **間違いを指摘し、どうすればできるようになるかを、怖じずに助言**

## Oral Introduction with Interactionの実演

- 本文の内容についてやりとりを通じて導入
- 新語や重要文の提示と口慣らし
- 音とつづりのつながりを提示
- 既習事項の活用
- あとのリーディングのセクションも意識して

## 英語指導におけるICT

### できるようになること、失うこと

- かな漢字変換の普及と、書字能力の低下
- スマホの普及、ICTスキルの低下
- 黒板で簡単にできたことが、電子ボードではできなくなった
- 何でも電子化するのがいいことなのか？

### 機械を使うか、使われるか

- 機器に使われるアプローチ  
- 「?」
- 機器を使いこなすアプローチ  
- 「?」

### Edgar Dale

“Like every shining new gift, these devices may dazzle one so that he cannot see clearly.”

*(Audio-Visual Methods in Teaching, Revised Edition, 1954)*



### Alan Kay

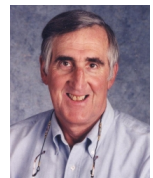
“Any problems the schools cannot solve without computers, they cannot solve with them.”



### Larry Cuban

“Computers in classrooms have been oversold by promoters and policy makers and underused by teachers and students.”

*(Oversold and Underused: Computers in the Classroom)*



## 子どもの学びとテクノロジー

“They haven’t used it. We limit how much technology our kids use at home.”



## 子どもの学びとテクノロジー

“That’s because we have seen the dangers of technology firsthand. I’ve seen it in myself, I don’t want to see that happen to my kids.”

(Chris Anderson, 3D Robotics CEO)

## 既に視聴覚機器草創期から

“Aids are but aids. They cannot replace teachers.” Audio-Visual Aidsに対する私の信念と、根本的な立場は以上の表現につける。(中略)



それでは、どのような効果的な利用法があるのでしょうか？それは**教師の心構え如何**にあると云えよう。更にいえば、はじめに云ったように、**Aidsの意味を真に理解すること**である。  
(小川芳男「Audio-Visual Aids」『英語教育』1959年12月号)

## 黒板とチョークは古いか？

いつのころからか、黒板とチョークだけで授業をするのは時代おくれであるとする風潮が出てきた。少なくとも、黒板とチョークだけで研究授業をしたという例はあまり聞かない。



## 黒板とチョークは古いか？

そして、視聴覚教育の問題もあまり取り上げられなくなってしまったのは皮肉である。私には、**視聴覚機器を教室の中に持ち込むことばかり考えたところに誤りがあったように思える。**

(若林俊輔「1973年英語教育の回顧と展望」『英語教育』)



**これらの警鐘を踏まえた上で**

## ICT活用の可能性と注意点

- オーラルイントロダクション
- [単語の提示](#)
- [音読の指導](#)
- [文法説明](#)
- 電子教科書
- タブレットの使い道
- スキャナーで書類削減

## アクティブ・ラーニング？

## 文科省の定義

- 教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の**能動的な学修への参加**を取り入れた教授・学習法の総称。
- 学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。
- 発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。

## なぜ今？アクティブ・ラーニング？

- これまではそんなにpassiveだったのか？！
- 教科調査官との立ち話
- 「英語は英語で」はどこへ？

## 考慮されていない条件

- クラスサイズ
- 教室環境
- 教員のサポート体制
- 家庭や社会、教育全体で培ってきたもの

## 研究者の責任と罪

- 現場と乖離した研究に振り回される現場
- 常に目新しいbuzz wordをひねり出さねばならない事情
- 研究予算を握られた弱み

### まとめ:現場の先生にエール

- 「教える」ことに後ろめたさを感じずに
- これまでの指導技術を大切に
- 自立した学習者の土台をしっかり指導
- 新しい概念や機器に振り回されないように
- 必要を感じたことを、少しずつ